

## 参考資料

### 1. 下水道アンケート

余市町下水道中期ビジョンの策定にあたり、町民への下水道に対するアンケート調査を行いました。

#### アンケート調査の概要

##### アンケート期間

令和4年（2022年）1月14日から  
1月28日まで（15日間）

##### アンケート配布・回収方法

- ・アンケート配布：配布先を無作為に抽出して郵送
- ・アンケート回収：郵送にて回収

##### アンケート配布数・回答数

- ・アンケート配布数：1,500戸
- ・回答数：625戸
- ・回答率：41.7%

#### 年代別内訳

年代	回答数	構成比
20代	3戸	0.5%
30代	41戸	6.6%
40代	49戸	7.8%
50代	82戸	13.1%
60代	149戸	23.8%
70代	294戸	47.0%
不明	7戸	1.1%
合計	625戸	100.0%

アンケート内容  
と結果

## ・アンケート内容

問1：下水道事業の意識調査

問2：下水道事業での取組内容について（10項目）

## 問1

年代	意識している		たまたに意識している		ほとんど意識していない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
20代	0戸	0.0%	1戸	33.3%	0戸	0.0%
30代	3戸	7.3%	9戸	22.0%	21戸	51.2%
40代	4戸	8.2%	18戸	36.7%	18戸	36.7%
50代	19戸	23.2%	30戸	36.6%	28戸	34.1%
60代	25戸	16.8%	71戸	47.7%	41戸	27.5%
70代	122戸	41.5%	108戸	36.7%	53戸	18.0%
不明	4戸	57.1%	1戸	14.3%	0戸	0.0%
合計	177戸	28.3%	238戸	38.1%	161戸	25.8%

年代	全く意識していない		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
20代	2戸	66.7%	0戸	0.0%	2戸	100.0%
30代	8戸	19.5%	0戸	0.0%	8戸	100.0%
40代	8戸	16.3%	1戸	2.0%	9戸	100.0%
50代	4戸	4.9%	1戸	1.2%	5戸	100.0%
60代	10戸	6.7%	2戸	1.3%	12戸	100.0%
70代	8戸	2.7%	3戸	1.0%	11戸	100.0%
不明	1戸	14.3%	1戸	14.3%	2戸	100.0%
合計	41戸	6.6%	8戸	1.3%	49戸	100.0%

## 問2（複数回答あり）

項目	回答数	構成比	回答順位
最適な下水道計画の策定	249	16.5%	1位
未普及地域の解消	158	10.5%	4位
雨水浸水対策	159	10.5%	4位
下水道施設の耐震化	223	14.8%	2位
減災対策	197	13.0%	3位
計画的な改築・更新	116	7.7%	8位
下水道資産の有効活用	63	4.2%	10位
水洗化の促進	120	7.9%	7位
省エネルギー対策	92	6.1%	9位
中長期経営計画の策定	135	8.9%	6位
合計	1,512	100.0%	—

「今後進めらるべき整備目標」のためのアンケート参考資料

1. 下水道中期ビジョンとは

【目的】 下水道を取り巻く環境が確実に変化する中、余市町の下水道事業の現状と課題を踏まえて、これからの下水道事業のあるべき姿について検討し、下水道の効率的な整備と安定的な経営を図るため「下水道事業の方針と目標及びその具体的施策の将来像を明確にする」ことを目的とします。

【期間】 下水道中期ビジョンの計画期間は2022年（令和4年）から2031年（令和13年度）までの10年間とします。

2. 基本方針について

現状を踏まえ北海道の「北海道地方下水道ビジョン」と本町「余市町総合計画」を参考としたものでこれを案とします。

【基本理念】 未来に向けて住みよいまちを支える持続可能な下水道

【基本方針と主要な施策】

1. 「安心して暮らせる快適環境のまちづくり」に貢献する下水道」

- ①効率的・効果的な下水道整備を目指す ②浸水被害に備えた雨に強いまちづくり
- ③大規模地震に備えて下水道施設の耐震化

2. 「持続可能な下水道機能の維持と向上」

- ④下水道施設の適正な維持・管理 ⑤下水道施設の広域化・共同化の促進

3. 「経営基盤の強化と安定した下水道経営」

- ⑥経営基盤の強化と透明性の向上

3. 下水道の役割とは



【公衆衛生の確保】

清潔な水洗トイレになりますので、汲取りの心配や住宅内部の悪臭がなくなり、快適な住環境が保たれます。



【浸水の防除】

雨の多い日本では、水の危険性があります。下水道は、降った雨を排除し、雨水がたまりないようにします。



【生活環境の改善】

汚れた水を流すと川や海が汚れます。下水道が整備されると、臭いやハエ、蚊の発生原因となります。下水道が整備されると大きく改善されます。

【公共用水域の水質保全】

汚れた水を流すと川や海が汚れます。下水道が整備されると、臭いやハエ、蚊の発生原因となります。下水道が整備されると大きく改善されます。

4. 余市町の下水道の現状と課題

本町の公共下水道事業は、昭和55年度に事業に着手して以来、事業を推進し今日に至っています。

現在、社会情勢が変化している中、本町の下水道事業の現状と課題を踏まえ、ライフラインのひとつである下水道を持続可能な施設として、将来像を明確にすることが重要です。そこで、町民の皆様の見解をお聞きして、今後の下水道整備計画の参考とします。

(1) 下水道整備について

本町の公共下水道事業は、下水道全体計画面積743.0haの内639.4haについて事業計画を策定し整備を進めており、現在の主な整備状況は下表のとおりです。

区分	項目	内容	備考
管渠施設	管渠延長	汚水約130km 雨水約3km	
	整備面積	551ha（整備率86.2%）	整備率=整備面積/事計画面積
	処理人口	14,657人（普及率81.2%）	普及率=処理人口/行政人口
	水洗化人口	13,315人（水洗化率90.8%）	水洗化率=水洗化人口/処理人口
汚水処理施設	処理場	余市下水処理場	平成元年10月供用開始
	ポンプ場	黒川第1中継ポンプ場	平成元年10月供用開始
		山田中継ポンプ場	平成7年4月供用開始
		浜中中継ポンプ場	平成8年4月供用開始
		沢町中継ポンプ場	平成11年4月供用開始

公共下水道事業の主な整備状況（令和3年3月現在）

今後の下水道整備方針については、現計画を基本としますが、近年の社会情勢から現状に即した修正が必要です。現在、下水道未整備の地域がまだ残っておりますが、下水道事業の費用対効果を勘案すると早急な整備が難しい状況です。

しかし、下水道の大事な役割のうち「公衆衛生の確保」と「生活環境の改善」及び「公共用水域の水質保全」の観点より今後も汚水処理整備が必要なことから、公共下水道のみならず計画区域外を主体とする生活排水処理計画としての合併処理浄化槽等による検討が求められています。

※令和3年度に下水道全体計画区域を743.0haから668.6haに縮小する予定です。

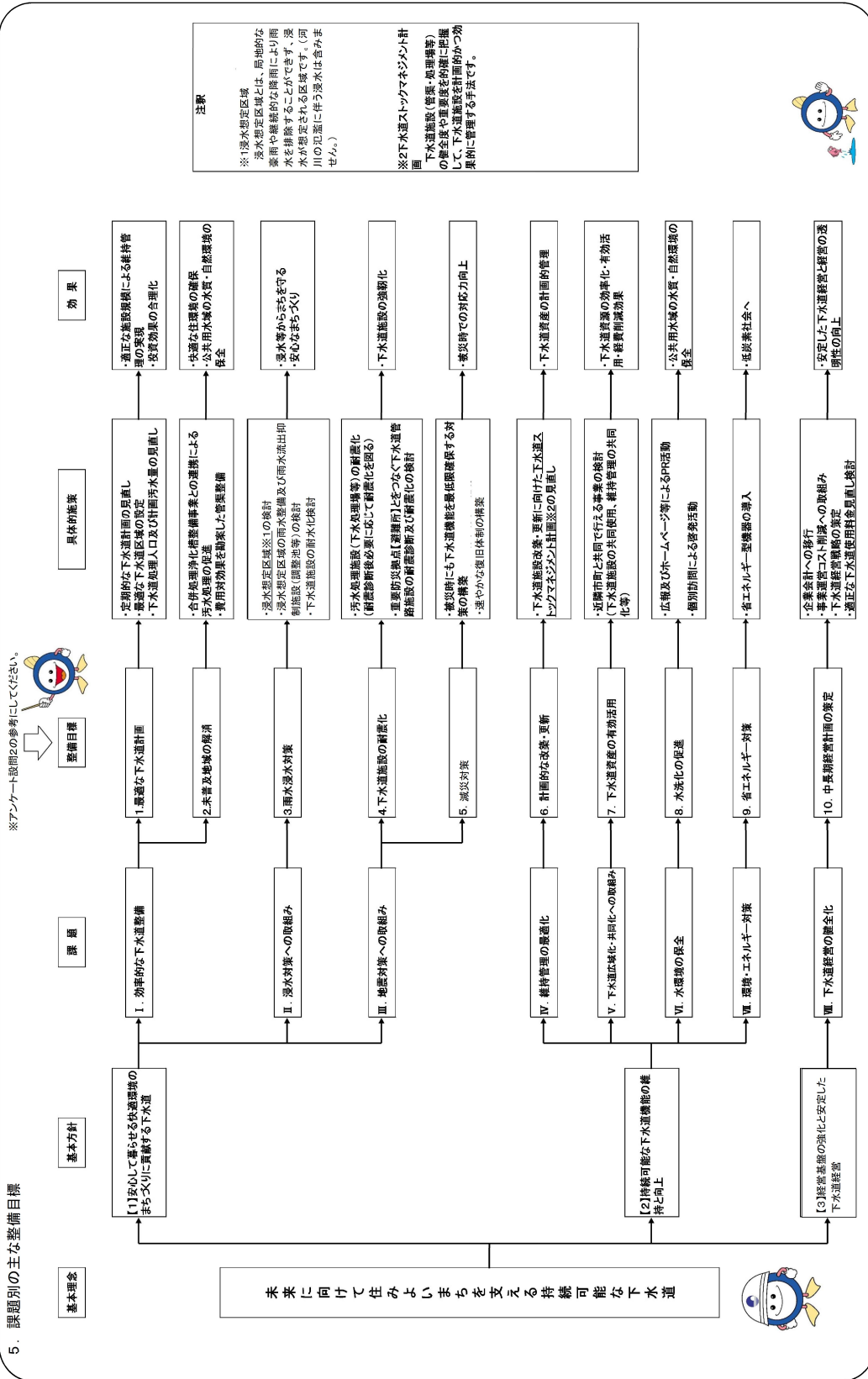
(2) 下水道経営について

人口減少・高齢化社会の問題、激甚化する自然災害、インフラの更新需要の大幅な増加、エネルギー問題への関心の高まりのほか、町の総合計画の見直し、国における新下水道ビジョンの策定、下水道法の改正、経営戦略策定の要請等、下水道事業を巻き込む社会環境は大きく変化しています。

こうした状況の変化に適正に対応するため、中長期的な視野に基づき現行の計画の見直し、投資と財源のバランスに配慮しながら、より効率的な安定した下水道経営を目指します。

「今後進めべき整備目標」のためのアンケート参考資料

5. 課題別の主な整備目標



## 余市町 下水道中期ビジョン

令和4年度（2022年度）～

令和13年度（2031年度）

発

行／北海道余市町

〒046-8546

北海道余市町朝日町 26 番地

TEL0135 (21) 2111

令和4年6月

